

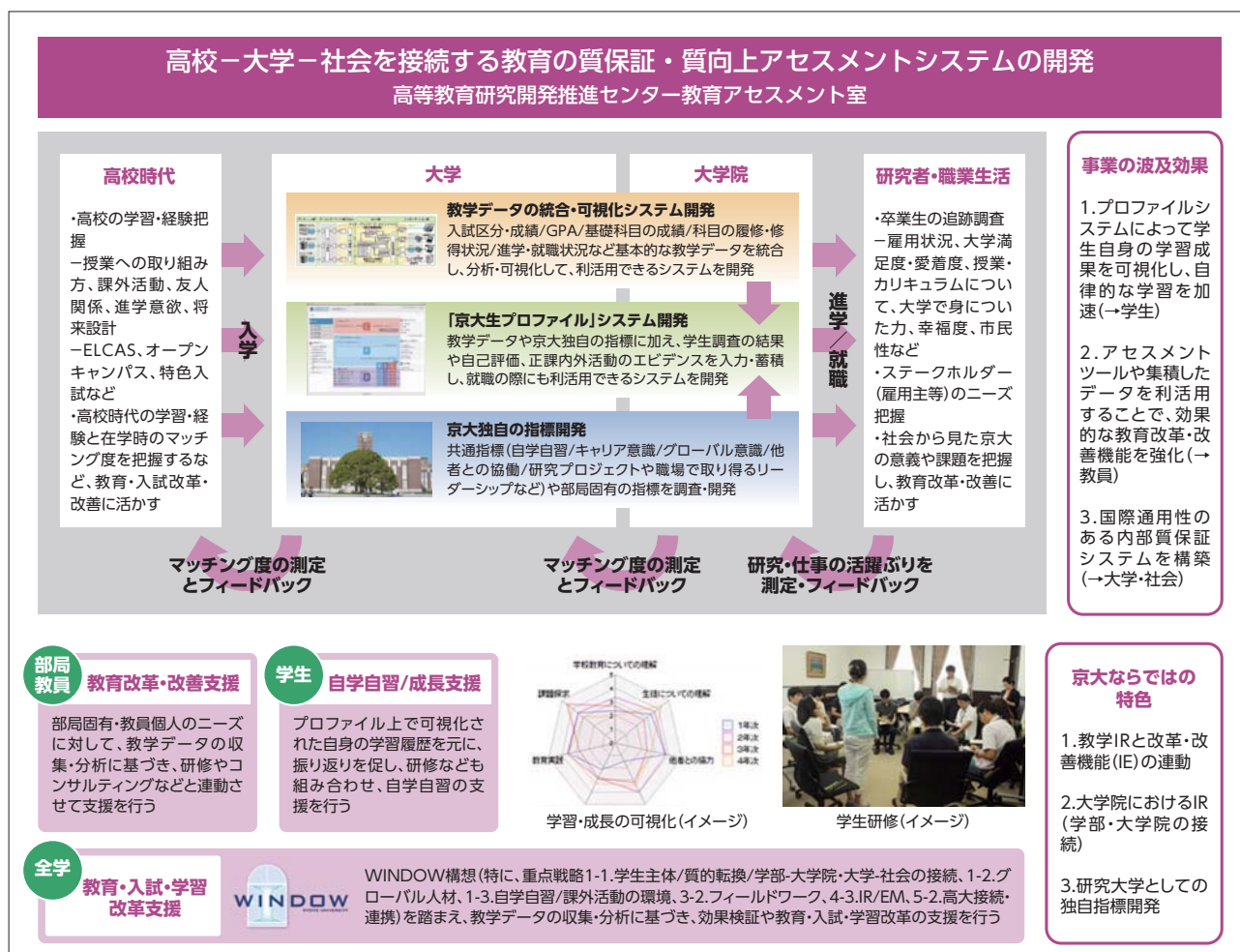
V. 教育アセスメント

2016年4月、本センターに「教育アセスメント室」が設置されました。溝上慎一（教授、室長）と山田剛史（准教授）のスタッフ体制で室の業務に取り組みます。

教育アセスメント室の主な業務は、

- ・全学や部局の教学IR (Institutional Research)、教育に関する評価、エビデンスの収集等に関して支援・連携を行うこと
- ・そこから得られる知見や成果を、高等教育研究開発推進センターの全学・部局の教育学修支援に繋げることにあります。

これは昨今、学修成果 (learning outcomes) や内部質保障の要請にともなって、データやエビデンスを用いての教育や学修の成果を示すことが、全学・部局で求められる流れを受けてのものです。



「京大生プロフィール」の構想

2016年度は、大きく2つの業務に従事しました。

(1) 教育・情報・評価担当理事主催「自己点検・評価に係る研修会」への協力

詳しくは、「Ⅱ.教育制度改革支援」の「3.ポリシーに基づく評価の支援」のページをご覧ください。



研修会の様子

(2) 「京大生プロフィール」のシステム構築

教学運営を支える教学IR (Instituitual Research) 推進の一環として、学生の学習実態や、全学・部局の教育ポリシーに関する学修成果(教務データや調査データ等)を多面的・縦断的に把握し、教育・入試改革の検証や改善に資するため「京大生プロフィール(データベース)」を構築しています。本学の既設サーバー上で運用するシステムである京大生プロフィールには、全学の教学IRのデータベース、データウェアの機能を持たせつつ、学生自身の学びの足跡を可視化するeポートフォリオとしての機能をも持たせるものです。2017年夏頃の完成を目指して作業を進めています。

(溝上 慎一・山田 剛史)

